

楷書で丁寧に ～ 私立校願書の書き方～

受験の願書を書く練習をします。丁寧に書いてください。今回は私立高校の願書を使いますが、私立校は公立と違い学校によっていろいろな様式があります。書かなければならない書類も学校によって異なります。基本的な内容や書き方は公立も含めほぼ同じですので、私立校を受験しない人もしっかり書いてください。

- ①文字は楷書で丁寧に書きます。数字は漢数字ではなく算用数字を使います。
- ②日付は出願の日を書きますが、出願するときに記入しますので空けておきます。
- ③科やコースはあてはまるものに○印を入れるか丸で囲みます。第2志望ができる場合は説明をよく読んでまちがえないように記入してください。
- ④名前や住所は住民登録通りに書くことが原則となっていますが、私立校の場合、名前は通称で出願してもかまいません。

- ⑤ふりがなは「ふりがな」と書いてあればひらがなで、「フリガナ」と書いてあればカタカナで書きます。

- ⑥保護者の「本人との関係」は、本人から見た関係で「父」「母」となります。「実父」「お母さん」「親子」などとは書きません。



- ⑦現住所は原則として住民登録どおりに「丁目」「番」「号」を省略せずに書きます。「大阪府」は省略してかまいません。府営、市営住宅等の「棟」は不要です。「ウェストリバー」等の住宅名も省略してかまいません。書き方の例や指示がある場合は、それに従ってください。(例)大阪市東淀川区菅原1丁目2番3-401号)

- ⑧卒業年月は「平成28年3月卒業見込み」です。日も書く場合は31日となります。

⑨「印」は、シャチハタなどのゴム印は認められません。認め印でかまいませんが、実際に正式に願書を書くときは、固い印鑑を朱で押してください。

⑩写真は学校で貼ります。

⑪学校によりその他にも必要な書類があります。要項をよく読んでまちがえないように記入してください。

正しい服装で ～ 私立校 願書 取得 ～

私立校を受験する人は、すでに願書をもらってきているでしょうか？私立高との進路相談がありますので受験校が変わるかもしれませんが、まだ志望校の願書等が手元にはない人は1月6日までに各自で取得に行ってください。多くの学校では、年内は12月25日(金)まで、年明けは1月4日(月)から(土曜日、日曜日、祝日以外)の9時から17時まで窓口が開いています。

進路懇談中の午後も使ってください。冬休み中は高校等に確認してから行ってください。必ず正しい服装(制服)で行ってください。徒歩か電車やバスを使い、自転車や自家用車を乗り付けるようなことはしないでください。高校等に着いたら、門に入る前にマフラーなどの防寒具をはずし、事務室の窓口で「大阪市立新東淀中学校の〇〇です。願書をいただきに参りました」と声をかけます。願書が手渡されたら「ありがとうございます」と挨拶をして帰ります。



取得した願書は、外の封筒に名前を書き、他は何も書かずに、2学期中か1月7日(木)の始業式の日、封筒のまま一式全部を担当の先生に渡してください。中学校で必要な書類を抜き、後日に書き方等を説明して返却します。